

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第21回）  
議事要旨

日時 平成28年10月31日（月）10:00～12:00  
会場 日本学術会議 5-C（2）会議室  
出席者 相原委員長、永井副委員長、長野幹事、苧阪幹事、岩本委員、宮崎委員、  
嶋田委員、高原委員、柴山委員  
陪席 日本学術会議事務局  
(石井参事官、松宮参事官補佐、漆畑上席学術調査員、大橋参事官付、  
鈴木参事官付、大庭参事官付)

配布資料：

- 資料1 第20回議事要旨（案）  
机上配布1 第20回議事メモ案  
机上配布2 10月21日幹事会メンバー報告用資料  
机上配布3 第23期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（案）
- 参考1 分科会委員名簿  
参考2 第23期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスター  
プラン策定の方針  
参考3 重点大型研究計画策定における審査・評価プロセス

議題：

- 1) 前回の議事要旨案は修正の上、承認された。
- 2) 第20回の本分科会で行われた「重点大型研究計画(案)」の策定プロセスについて再確認された。
- 3) 相原委員長より、10月21日に幹事会メンバーに対し、机上配布2の資料を用いて、現在までの本分科会の審議の状況、学術大型研究計画（案）ならびに重点大型研究計画（案）の策定状況について報告したと伝えられた。
- 4) 同時に、ヒアリング対象となった計画の提案者に重点大型研究計画の結果を「案」の段階であることを前提として、通知することが了承された旨報告があった。
- 5) 「提言」あるいは「報告」の内容について議論された。

- 5-1. 今回のマスタープランを「提言」とするか、「報告」とするかは後日決定することとした。
  - 5-2. 今回のマスタープランはマスタープラン 2014 の改定版であり、コンパクトにまとめることとした。
  - 5-3. 「学術研究領域」は章立てして、記述する事はしない方向で考えることとした。
  - 5-4. 内容の詳細について、今後はメールにて審議を行う事とした。
- 6) 次回に予定されていた 11 月 15 日は中止とし、次回の開催は 12 月 5 日とするが、メールでの審議の進捗状況により、変更の可能性がある。